

### 3 コミュニティネットワーク・宝（南区）

## 地域自主防犯活動活発化事業

### 実施結果報告書

1 団体名	コミュニティネットワーク・宝
2 事業名	手口を知り、特殊詐欺にはだまされない。
3 事業実施結果	<p>コミュニティネットワーク・宝（以下、コミネット宝）は名古屋市南区の宝小学校区で活動をしているボランティア団体です。事務局員3名を中心に学区、地域住民の理解と協力を得て、交通安全、防犯・詐欺などの生活、地域安全、健康維持のための情報提供、発信等を主な活動内容としています。最重要課題は「みんなで情報の共有」です。</p> <p>昨年度に引き続き、減る事のない特殊詐欺についての啓発活動を継続的に実施することが大切と考え今年度も地域自主防犯活動事業に応募しました。</p> <p>今年度の活動内容として下記の内容を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学区独居高齢者交流配食でのミニ講演会、啓発品配布。</li> <li>2. 学区高齢者健康サロン・健康麻雀サロン・地域診療所有志運営によるサロンでのミニ講演会・啓発品配布。</li> <li>3. 学区協議会での講演会</li> <li>4. 年金支給日に金融機関前での啓発活動。</li> <li>5. 金融機関（郵便局）へ垂れ幕掲載の依頼</li> <li>6. 他学区での啓発活動。</li> </ol> <p>事業実施と結果</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学区独居高齢者交流配食でのミニ講演会、啓発品配布。 （9月24日実施）</li> </ol> <p>今年度も大人数での会食が制限されているため、学区コミュニティセンターへお弁当を取りに来てもらう時にミニ講演会を開催し、チラシと啓発品を配布しました。</p> <p>過去から知られている詐欺の内容の周知徹底と、新たな手口の詐欺についても、台本を作成し、社会福祉協議会の方と参加者に協力をお願いして簡単な寸劇形式で実施しました。</p> <p>「次から次へといろいろな手口が出てくるね。」と口々に感想を言われました。</p>



配布チラシ

2. 学区高齢者健康サロン・健康麻雀サロン・地域診療所有志運営によるサロンでのミニ講演会・啓発品配布。

学区内では様々な高齢者対象のサロンが開催され、15名～30名が参加しています。

特殊詐欺の手口を「還付金」「キャッシュカード詐欺盗」「預貯金詐欺」「架空料金請求詐欺」

「オレオレ詐欺」について丁寧に説明しました。

新しい詐欺手口である「介護施設入居権利詐欺」についても講話をして、知らない電話番号からの着信があってもでない、出ても名乗らない、冷静に対応、

一人で判断せず相談すると繰り返し説明しました。

皆さんから、うちにも、友達にもそんな電話があったとの話があり、近くに魔の手が迫っていると実感しました。



3. 学区協議会での講演会

協議会は学区内の町内会長の集まりです。毎月10日が協議会開催日で、会合の終了後に時間をいただき、特殊詐欺について詳しく説明をして、皆さんに理解をしてもらい、各町内においても講話の内容を伝えてもらうようお願いしました。要望があれば直接お話に行かせてもらうとも伝えました。

4. 年金支給日に金融機関前での啓発活動。

12月15日は2か月に一度の年金支給日で、特に12月は年末年始の生活にお金が必要となる時期です。そのような時は特に詐欺に狙われやすいです。学区内にある郵便局の前で愛知県警南警察署生活安全課の協力のもと、啓発活動を実施しました。開店前から30分程度、話をすると多くの方に耳を傾けていただけました。警察署員の方に質問をされている方も何人かいて、詐欺についての関心の高さを感じました。

金融機関での年末啓発活動



貴方の大切なお金です  
詐欺にあわないように

5. 金融機関（郵便局）へ垂れ幕掲載の依頼。

視覚に訴える啓発活動として横断幕を作成しました。



郵便局入口に取り付けた横断幕



作製したスイングポップ

視覚で訴えることも重要です。郵便局の出入り口付近に設置してもらい、注意喚起に役立てたいです。ATMにはスイングポップが貼ってあり、揺れながら注意喚起をしています。ハッと気づく横断幕、スイングポップ。

6. 他学区での啓発活動。

今年度は初めての試みとして他学区への啓発活動を行いました。3学区の委員長に協力をお願いして実施しました。

(1) 笠寺学区 福祉芸能フェスティバル（11月23日）



来場者に受付でチラシと啓発品を説明をしながら配布。

参加者の年齢も高かったことから、興味を持って話を聞いてもらえました。

(2) 明治学区 クリスマス会（12月17日）

受付で説明をしながら配布。人数が多いため 社会福祉協議会の職員さんにも手伝ってもらい80名の方に啓発活動を実施できました。来賓として来られた、市長、区長、他学区の委員長にも耳を傾けてもらい、地域活動の重要性を知ってもらえる機会となり意義があったと思います。



	<p>(3) 大生学区 朝の体操会 (第4週目は終了後お茶会)</p> <p>毎週火曜日、朝7時から大生学区ふれあいセンターでのラジオ体操会第4週目にお茶会を行っているところに参加して、啓発活動を行いました。真剣に話を聞いていただき。情報交換もできました。</p> <p>他学区での啓発活動は始めてではありませんでしたが、話を聞いてもらうことができ、周りの方の理解と協力を得て活動ができました。特殊詐欺は皆さんにとって関心のあることと実感し、「ここでも電話が掛かってきた」、「知り合いにもかかってきた」との話が出て、特殊詐欺は日常的にあることだと感じました。被害はなかったようで安心しました。</p>
<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>特殊詐欺は多くの方にとって関心のあることであると実感しました。学区では数年間継続的に多くの方に話をしてきたので、こちらが質問をすれば答えてもらえ、反対にこんなことがあった、周りにも電話がかかってきたなどの情報も得ることができ、一方的な話ではなく、対話ができ情報交換がスムーズになりました。</p> <p>始めて実施した他学区への啓発活動も今後活動の場を広げていく手がかかりを得ることができました。</p> <p>特殊詐欺は身近に起こる犯罪のため、関心を持ってもらえたことが良かったです。すべてのところで詐欺について詳しく話したが、どんなに細かなことでも警察の#9110に知らせてもらい、記録に残すことが大切なことだと伝えました。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>啓発活動を続けていくには、日々変わる詐欺の実態を勉強していかなければならないと感じました。これからも活動を継続していきたいです。</p> <p>(2) 今後の取組み</p> <p>数年活動を継続して実施してきて、地域に根付いた活動となってきましたので、更に引き続き活動を続けていきたいです。</p>